特産品の山うどの出来栄えを競う、第15回山うど共進会

▲農家自慢の山うどがずらりと並んだ

収穫最盛期を迎えた山うどの出来を競いあう、第15回山うど共進会が2月22日に行われ、伊藤宏さん（築法師）がみごと最優秀賞に輝きました。

今年度は、天候不順で掘り取り作業や生育・収穫に影響が見られましたが、芽が大きかったため3Lや2Lものが多く収穫され、重量感のある立派な山うどが出荷されています。

○最優秀賞：伊藤宏さん（築法師）
○優秀賞：畑山悦雄さん（外　面）
○優秀賞：大高和男さん（久喜沢）

平成25年度の農業へ向けて、地域一体で取り組むことを確認

▲農業の充実が地域の発展に不可欠だと話す齊藤市長

生産者・JA・行政の代表が平成25年度の農業振興に向けて協議する、広域農業振興協議会が2月8日に開催されました。

協議会では、カントリーエレベーターの実績や24年度の米と青果物の実績が報告された後、25年度の秋田県・能代市・藤里町の補助事業計画について説明。生産者からは、米穀や「白神ねぎ」10億販売など青果物全体の振興に向け、総合的な生産力強化に対する体制づくり等が提言されました。

確定申告書の作成に向け、収支内訳書作成講習会を開催

▲年間の農業所得や減価償却額を計算する参加者

税務署への確定申告をより容易にするのを目的に、JAは2月5日に農業所得収支内訳書作成講習会を開催しました。

講習会には生産者約70名が参加し、JA秋田中央会の小林克己さんを講師に、農業経営収支記帳や減価償却の計算について説明を受けました。参加者は「親が行っていたが引き継ぐことになったので、講習会の開催は助かります。」と話すなど、収支内訳書へ理解を深めていました。

播種期を目前に、トマト栽培講習会を開催

▲参加者からの質問に応える担当者

JA園芸部会は管内で広く栽培されているトマト品種「麗夏」の栽培講習会を、能代市農業技術センターで開催しました。

麗夏は夏秋栽培に適しており、多収性で病気や裂果への耐性も強く、色つやも優れていることから『王様トマト』と呼ばれています。講習会では麗夏の肥料管理や高温乾燥時の管理のほか、病害虫防除や土壌分析診断結果などについて、担当者から詳しい説明が行われました。

牡牛座（4・20～5・20）　優しい気持ちになれるので、みんなから慕われるはず。誰にでも親切に接するのが開運の鍵。お花見にもつき